

ねづくニュース

【目次】

第1回活動ワークショップ

「宿根草の植え付け」を開催しました！

9月お手本花壇管理活動日誌 / 10月のイチオシ宿根草

9月の勉強会 / 堆肥づくりについて

【コラム】

ねづくおすすめの道具紹介

2022
10月号

9/24 第1回活動ワークショップ

「宿根草の植え付け」を開催しました！

9月24日（土）に、第1回活動ワークショップ「宿根草の植え付け」を開催しました。

28名の方にご参加いただき、宿根草ガーデンに関する座学の後、園内の宿根草ガーデンで苗の植付け作業を実践しました。



講座では、福岡市植物園ティーチングガーデナー 卜部仁美先生に植栽計画の考え方や宿根草の選び方、目指すガーデンの姿について、事例を交えて説明していただきました。苗の植付けでは、現在植えられている宿根草の状況を把握して、植付け位置や来園者からの見え方など、試行錯誤しながら補植作業を行いました。みなさん真剣で、楽しそうに作業されていました！参加者のみなさまご参加いただきありがとうございました。これからも様々なワークショップやセミナーを実施していきますので、ぜひご参加ください。

宿根草の販売会を開催しました！



ワークショップに合わせて、園内で宿根草の販売も行いました。多くの方に宿根草の魅力を知ってもらえるきっかけになればと思います！今後も、販売会を開催する予定ですのでぜひお越しください♪売上げの一部をねづくプロジェクトの活動費として活用します。

西短の学生さんがお手伝い！



ガーデニングや造園、ランドスケープデザインを学ぶ、西日本短期大学緑地環境学科の学生さんたちが、講座の指導や宿根草の販売のお手伝いをしてくれました♪ありがとうございました！

活動ワークショップでいただいたQ&A

Q. 福岡、九州に合う季節ごとの宿根草を知りたいです。

A. ガーデンデザインや花壇の植栽計画で「植栽地に適した植物」ということが言われます。植栽する場所に適した植物を選択することで、植物に無理をさせないことはもちろん、管理をしやすくすることにもつながります。

植物を植え付ける前に、植付け場所の日当たり、土の状態や既存の樹木、植栽などを確認して植物を選ぶことが必要です。

ねづくプロジェクトでは、毎週月曜日・火曜日のお手本花壇管理やお悩み相談レクチャーの時間に、福岡で育ちやすいおすすめの宿根草の紹介や、参加者同士で勉強などをしていますので、ぜひ、お問合せ、活動への参加をお待ちしております。

参加者からのご感想

●今回初めて参加をさせて頂きましたが、とても楽しかったです。普段の仕事でもたくさんの植物に触れますが、デザインの仕方などが全く違うので勉強になりました。また、ぜひ参加したいです。

●実際に植えることで勉強になることが色々ありました。

●現在ボランティアを行っている緑地の花壇の植栽に参考になりました。イメージ、植え付けるもの、植える時期など大事なことがたくさん解りました。もっと深く知りたかったです。ありがとうございました。自分が植物園の花壇作りに参加できて、また来て見る楽しみもできました。



【2022/9 月編】

お手本花壇管理活動日誌

毎週、月・火 10:00 ~ 12:00

福岡市植物園宿根草花壇のお手入れを実施中！

ご自由にご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください

9月は、2度の台風到来や雨天により限られた日数での活動となりました。気温も下がり始め、活動がしやすくなってきました♪

〔 9/12 支柱設置、古葉、古枝剪定、種まき 〕



自然な霧囲気が素敵ですね



立派に育ちますよ〜に!



オオマツヨイグサの種

園内に落ちていた枯れ枝を利用し、背の高い宿根草に支柱を設置しました。花壇全体が自然風な雰囲気に変化しました。

ラムズイヤーの古葉やネペタジュニアウォーカーの古枝の剪定を行いました。剪定後は風通しがよくなり、見た目もすっきりしました。

宿根草花壇に隣接して育つ、オオマツヨイグサの成熟した種を採取、播種しました。日没とともに咲き始めるオオマツヨイグサは3年ぶりに開催された夜の動植物園で好評でした。

〔 9/13 除草、花がら摘み 〕



ねづくプロジェクトでは、車道沿いにある植物園入口進入路の花壇の手入れも定期的に行っています。少し涼しくなり、真夏の時期と比べて草の量が少しずつ減ってきたことを実感しながら作業しました。

〔 9/26 移植、株の整理 〕



根株がばり大きくなったお!

宿根草花壇をスタートして2年が経過し、環境に合うもの、合わないものが少しずつ分かってきました。本来の姿での展示が難しいと判断したものや、増えてきた株を移植しました。

〔 台風前 台風対策 〕



9月は台風が2度訪れ、管理活動の中で、台風対策を実施しました。背の高い宿根草に支柱を設置し、麻縄で固定し、強い雨風に備えました。大きな被害もなく一安心でした。

10月のイチオシ宿根草！



ワレモコウ / バラ科

7月から10月にかけて、変わった形のかわいらしい、暗紅色の花を楽しめます。



オミナエシ / オミナエシ科

7月から10月にかけて、数本の茎をまっすぐに伸ばして株立ちになり、先端に多数の黄色い花を咲かせます。



サクラタデ / タデ科

タデの中では、大きめの花をつけ、花の色が桜に似ていることからこの名前が付けられました。



マスター / キク科

6～10月にかけてたくさんの花をで楽しませてくれます。花言葉は「追憶」「君を忘れない」、まるで過ぎ去る夏を惜しんで咲くようですね♪

ねづく堆肥ヤードが進化しました！

9月13日(火)、「異なる材料や方法で堆肥づくりを試し、管理、観察してみたい！」という思いから、堆肥ヤードに仕切り板を設置しました。庭師の清水さん(創都)、亀崎さん(亀崎開楽園)を講師にお迎えして、プロの方々に道具の使い方やヤードの作り方を教えていただきながら作業しました。西日本短期大学緑地環境学科の学生さんにも手伝っていただき、切り返しも行いました。

午後からは、植物園の職員さんも交えて会議室でこれからの堆肥づくりの計画を立てました。みんなで意見を出し合い花壇管理活動や植物園の管理作業の中でゴミとなっていたものを材料に、「落ち葉」「草」「枝」など6パターンの堆肥化の管理観察を試みることにしました(予定)。今年度の目標は「まずは、園内でちゃんと使える堆肥をつくらう！」です。各材料の変化が楽しみです♪



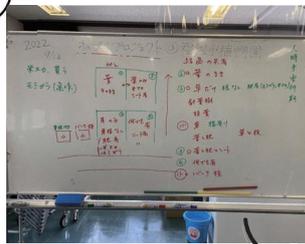
水平器あてて水平ってなあ〜



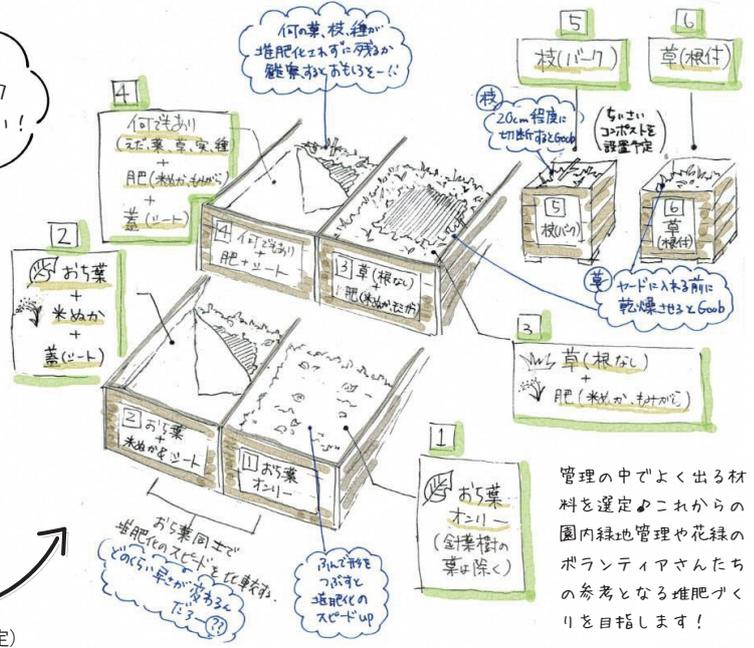
4本爪フォーク使いやすい!



体力のない方でもできる堆肥づくりを研究したいなあ



話し合い決めた堆肥化する材料と方法(予定)



【コラム】ねづくおすすめの道具紹介

微生物たちに酸素を送り込むべく、定期的に行うねづく堆肥ヤードの切り返し。落ち葉を持ち上げひっくり返す大変な作業に、これまででは、若い屈強な男子学生を引き入れ実施していました。9/13(火)、切り返しの新兵器として「4本爪フォーク」を導入しました。「これなら、私も簡単にできそう! 道具一つで作業のしやすさが全然違うんですね!」と楽しそうにフォークをふる参加者の愛さん。大阪の庭師清水さんが「道具ってゆもんは、現場の職人と鍛冶職人とのやりとりからつくられてきたんですよ(関西イントネーション)」と、道具の成り立ちについて教えてくださいました。こんなものがあつたらいいな、と鍛冶屋さんイメージを伝え、作業する職人さんの手になじむように改良を加え、形づくられてきたそう。先祖の方々の経験や知恵、その土地の風土といったものが積み重なり道具が形づくられている。そう考えるとひとつひとつの道具がとても愛おしく感じられますね。ねづくの活動もいつもたくさんさんの道具に助けられています。今回は、ねづくの庭仕事にかかせない道具7点をご紹介します! 撮影協力をいただいた、元気な西短の学生さんの姿と一緒に楽しみてください♪



① 4本爪フォーク

堆肥の切り返しで大活躍! 4本の爪が落ち葉や草をしっかりつかんでくれます。

② 熊手

落ち葉かきや掃除に欠かせない道具♪ 小さい熊手は植物の間のゴミもとりにやすいです!

③ 手箕(テミ)

九州では、ショウケと言います。関西では箕(ミ)。塵取りとして使ったり、土を入れてまいたり、掘り取った苗をいれたり。あると助かる万能な器です!

④ 剪定鋏 / ハサミ

花から摘みや太い枝の剪定など用途に合わせてハサミを使い分けます。剪定時に響く音も心地よいです!

⑤ デジタル土壌テスター

壤酸 pH / 照度 / 水分含有量 / 温度を測定してくれる優れモノ!

⑥ じょうろ

女性でも持ち運びしやすい6Lのじょうろを使用しています!

⑦ 麻ひも

支柱に枝を固定したり、台風時に葉を寄せてしぼったり。よく締めたり解きやすい性質で使いやすいです!

活動のご確認・参加申込みができます。

お問い合わせ

ねづくプロジェクト@福岡市植物園
(事務局: (株) ランドスケープむら)

✉ nezukuproject@gmail.com

☎ 092-541-8845 (受付時間 平日 9:00 ~ 17:00)

follow us



@nezukuproject



@nezukuproject

